

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は13件となりました。
2015年は、第20週以降、O157(2件)、O26(7件)、O111(2件)、O115(2件)の報告がありました。
例年、気温が高い時期に感染者が多くなる傾向があります。手洗いの励行、食品の十分な加熱など感染予防を徹底しましょう。

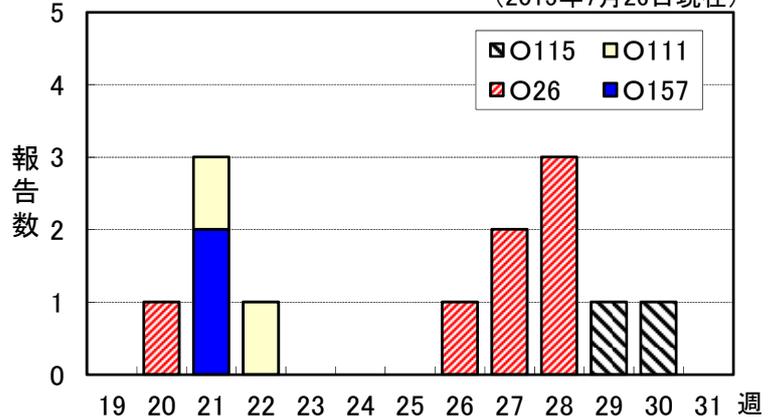
2. 手足口病

定点当たり4.38人と、前週と比べてやや減少しましたが、多い状態が続いています。
手足口病は、乳幼児を中心に主に夏に流行がみられるウイルス性の疾患です。
手足口病患者からの検出ウイルスとして、今年は全国的にコクサッキーウイルスA16型が多く報告されています。(次頁参照)

3. 日本紅斑熱

今年初めて1件の報告がありました。
日本紅斑熱は、マダニ類が媒介する感染症です。野山に入る際には、皮膚の露出を避けるなど、感染予防を心がけましょう。

腸管出血性大腸菌感染症の型別報告数の推移(2015年)
(2015年7月26日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	0.01		小児科	流行性耳下腺炎	35	1.46	0.91	
小児科	咽頭結膜熱	15	0.63	0.64		眼科	RSウイルス感染症	-	-	0.14	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	2.58	0.72			急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	102	4.25	3.57		基幹	流行性角結膜炎	14	1.75	1.00	
	水痘	13	0.54	0.73			細菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	手足口病	105	4.38	3.81			無菌性髄膜炎	2	0.29	0.08	
	伝染性紅斑	14	0.58	0.22			マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.09	
	突発性発しん	12	0.50	0.66			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	1	0.04	0.09			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	55	2.29	1.96							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	82	男性(60歳代)、女性(20歳代)・推定感染地域: 国外
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	13	男性(60歳代)・O115
4	日本紅斑熱	1	1	男性(60歳代)

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
			第26週	-	22	68	143	9	115	2	14	-	59	49	-	-	3	-	2	2	-	-
第27週	-	14	60	138	4	116	6	16	-	72	43	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1
第28週	-	8	66	148	5	120	14	10	1	87	41	-	1	2	-	-	1	-	-	-	1	
第29週	-	9	49	125	3	117	6	11	1	90	46	2	3	12	-	-	2	-	2	-	1	
第30週	-	15	62	102	13	105	14	12	1	55	35	-	-	14	-	2	1	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	第26週	-	0.92	2.83	5.96	0.38	4.79	0.08	0.58	-	2.46	2.04	-	-	0.38	-	0.29	0.29	-	-	-
第27週	-	0.58	2.50	5.75	0.17	4.83	0.25	0.67	-	3.00	1.79	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	0.14	
第28週	-	0.33	2.75	6.17	0.21	5.00	0.58	0.42	0.04	3.63	1.71	-	0.13	0.25	-	-	-	0.14	-	-	0.14	
第29週	-	0.38	2.04	5.21	0.13	4.88	0.25	0.46	0.04	3.75	1.92	0.08	0.38	1.50	-	-	-	0.29	-	-	0.14	
第30週	-	0.63	2.58	4.25	0.54	4.38	0.58	0.50	0.04	2.29	1.46	-	-	1.75	-	0.29	0.14	-	-	-	-	
全国	第28週	0.09	0.64	2.99	5.08	0.42	7.39	1.21	0.62	0.02	2.65	0.58	0.11	0.02	0.71	0.01	0.05	0.25	0.01	0.04	0.04	
第29週	0.10	0.56	2.48	4.40	0.42	10.16	1.16	0.59	0.02	3.34	0.56	0.16	0.01	0.75	0.02	0.06	0.35	0.01	0.05	0.05		

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患	発熱 上気道炎	0	女	2015/06/18	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 気管支炎	0	男	2015/06/17	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 気管支炎	5	男	2015/06/19	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の消化器疾患	嘔吐 下痢	5	男	2015/06/17	糞便	ノロウイルスG1群

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

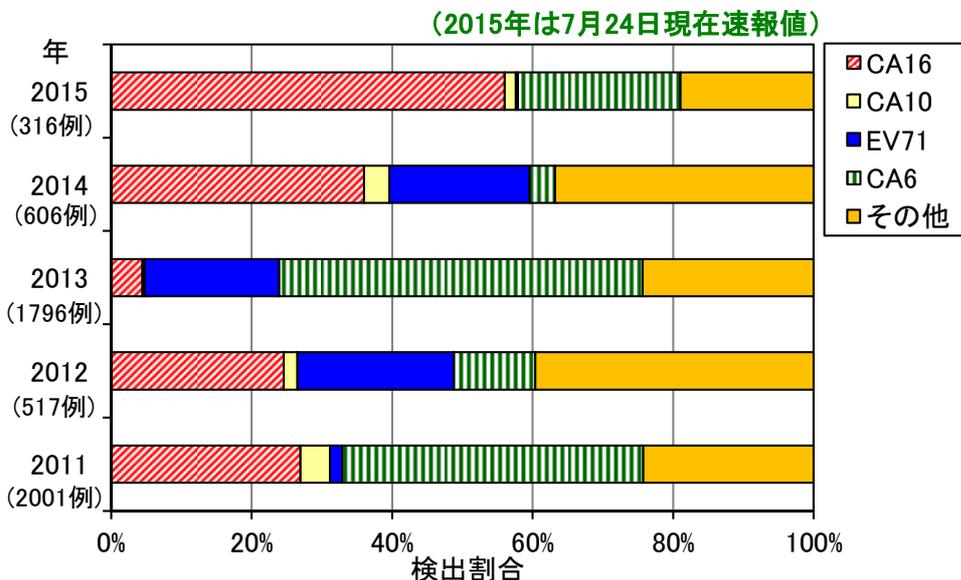
【参考】全国における手足口病患者からのウイルス検出状況(出典: 国立感染症研究所)

手足口病は、手のひら・足の裏・口の中の粘膜などに水疱性の発しんができるウイルス性の疾患で、乳幼児を中心に主に夏に流行がみられます。

原因ウイルスは、主にコクサッキーウイルスA16型(CA16)、エンテロウイルス71型(EV71)で、その他コクサッキーウイルスA6型(CA6)やコクサッキーウイルスA10型(CA10)などによっても発症します。

近年、大きな流行がみられた2011年と2013年はCA6が多く検出されましたが、2015年はCA16が多い傾向となっています。

体調管理に注意するとともに、手洗いなどの感染予防を心がけましょう。



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2015年第30週(7月20日~7月26日)